【別紙】優秀発表一覧及び最優秀賞に係る講評

(1) 治山・林道部門（３件）

No.	発表題目・発表者
6	治山事業における大型ドローンを活用した資材運搬の取組 青木興業株式会社　主任　勝呂　恭夫 株式会社奥平測量設計事務所　代表取締役　奥平　慎太郎 静岡県東部農林事務所　治山課　主任　林　晃大
2	諸子沢地すべり被害木の活用方法の検討 静岡県中部農林事務所　森林整備課　班長　寺田　真巳 治山課　総括主査　松永　信一
10	天竜農林局管内におけるボーリング工のメンテナンスについて 静岡県西部農林事務所天竜農林局　治山課　技師　木下　真之介

【講評　No.６　治山事業における大型ドローンを活用した資材運搬の取組】

・森林・林業分野で導入が進められてきたドローンを治山分野でも実証した事例であり、治山事業での資材運搬における新たな選択肢が示された。また、仮設工事を不要とすることで、早期の完成につながったほか、高齢化や労働力不足が進む中で、安全性の向上や労働強度の軽減に貢献しており、今後の工事におけるドローンの活用が期待される。

(2) 森林・林業部門　（３件）

No.	発表題目・発表者
11	作業システムにおける小ロット高価販売モデルと大ロット定額販売モデルの比較及び適地検討 丸高ティーティー株式会社　取締役　高橋　幸村 静岡県賀茂農林事務所　森林整備課　主査　伊藤　允彦
3	サーマル（熱赤外）カメラを搭載したドローンを活用した感染初期の松枯れ調査及び対策検討 昭和設計株式会社　部長　坂詰　浩二 沼津市　農林農地課　副主任　宮澤　侑希
5	下刈りの機械化のための自走式地拵え機による地拵えに関する検証 合同会社ビスペル　代表社員　馬渡　純 静岡県富士農林事務所　森林整備課　主任　辻　菜緒

【講評　No.11　作業システムにおける小ロット高価販売モデルと大ロット定額販売モデルの比較及び適地検討大型ドローンによる資材運搬の実証】

・今回の発表は、主伐の適地において、販売方法の多様化に対応するため、「小ロット高価販売モデル」から「大ロット定額販売モデル」へと作業システムを転換した事例を詳細に分析されていた。

・異なるモデルの労働生産性や販売価格を比較し、それぞれの適地を検討している点は、今後の林業経営の選択の幅を広げるとともに、今後も検証を重ねることで、他地域への波及が期待される。